

2011年11月1日

① 生ごみ（食物資源）のリサイクル

- 生ごみを自家処理し自宅や家庭菜園での使用の奨励
- 生ごみ処理機の普及、促進を図る（個人、グループ、集合住宅）
購入に際しては説明会・講習会を実施、購入後のアフターケアを充実する
- 一次処理物の収集拠点の拡大と拠点の明記
- 一次処理物の堆肥化→農業使用→農産物の販売の方向で検討していく（地域循環システムの構築）
- 生ごみから取り組む市民農園や家庭菜園の奨励
- 生ごみの堆肥化以外の活用の検討（ガス化、飼料化等）

② 食物資源循環モデル事業

- 2010年から2012年の3年間、毎年地域の拡大と参加世帯を増やしながらか、生ごみの収集と堆肥化を進めている。3年後モデル事業の課題や問題点を検証し、将来的には市内全域での実施を目指している。

③ 陶磁器のリサイクル

- 陶磁器リサイクルは不要になった食器を回収、細かく砕いて陶磁器の原料（粘土）にし、もう一度食器に作り変えるシステムです。
6月5日 ごみゼロフリーマーケットで陶磁器のリサイクルが、開催された。
9月10日 こだいらエコフェスティバルでも陶磁器リサイクルは、盛況でした。
- 集団回収・拠点回収・その他の回収方法を検討する。

④ ごみの減量

不燃ごみの減量

- 製品系プラスチックの資源化の検討（サーマルリサイクル）
- カップめん等のプラスチック容器・ペットボトルキャップ・・・不燃資源
- 調味酢・麺つゆ・ノンオイルドレッシングのペットボトル・・・不燃資源

可燃ごみの減量

- シュレッダーにかけた紙類・・・・・・・・・・紙資源
- 名刺・小さく切った紙類・広告紙類・タグ・・・・・・・・紙資源

⑤ 集団回収の奨励

- 集団住宅や自治会に分別指導や説明会を行い、集団回収の呼びかけをする。
- 現在活動を中止している回収団体には、活動の再開を働きかける。
- 資源回収団体の拡大と資源収集品目の拡大を図る。

以上